

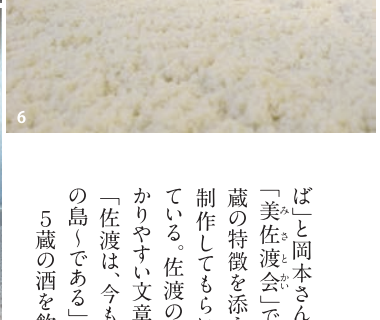
新潟清酒達人「ホテル志い屋」若女将

岡本美絵さんが体感

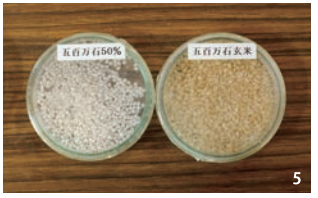
# 佐渡の酒蔵

日本海側最大の島・佐渡には5つの酒蔵がある。四季の変化に富む気候と、佐渡金銀山をはじめとする独自の歴史・文化をもつ島の酒蔵を、新潟清酒達人の若女将が訪ね、酒造りを体感した。

# 酒蔵



2013年に始まった「にいがた地酒の宿」の取り組み。県内のお宿と地元酒蔵の最高組み合わせを提案している。この取り組みに欠かせないのが「新潟清酒達人が宿にいること」。佐渡市の「ホテル志い屋」若女将、岡本美絵さんは新潟清酒「銅の達人」。「試験は大変でしたね。ノートを買って、学生時代に戻ったように勉強しました」と笑う。「ホテル志い屋」とタッグを組む酒蔵は天領酒造。この日、岡本さんは営業部の柴田衛さんの案内で初めて酒造りの現場を見学すること。



最初に案内されたのは意外にも屋外。柴田さんは、田園のかなたにそびえる佐渡の主峰金北山を指差しながら「うちの仕込み水は金北山の伏流水を3本の井戸から引いています。軟水ですね」と説明する。日本酒の成分の約80%を占める水は酒の味を左右する。精米所では目的の精米歩合まで数日かけて丁寧な米を削り、そのときに出る米粉は精米歩合によって肥料からせんべいまで、有効に活用される。



1.「にいがた地酒の宿」の酒「天領酒 天生」は升で提供。「温かみがあってお客様にも喜ばれています」と岡本さん。2.味はもちろん、ストーリーのあるお酒をセレクト。オリジナルラベルのものも。3.美佐渡会のお宿で使用しているオリジナルの敷き紙



岡本美絵さん  
新潟清酒「銅の達人」  
加茂湖のほとりに立つ「ホテル志い屋」若女将として佐渡の食と酒、観光の魅力などを宿泊客に伝えている。島内の女将でつくる「美佐渡会（みさとかい）」でも積極的に活動。「ホテル志い屋」では、加茂湖畔の静かな佇まいのなか、美肌の湯・両津温泉と四季折々の魚介や郷土料理を楽しむ。

4.天領酒造杜氏の市橋幸則（いちしゆきのり）さん（写真中央）を中心に蔵人が一つになり美酒を醸す。写真右が案内してくれた柴田衛さん。5.酒米「五百万石」の玄米（写真右）と50%まで精米したもの。6.麹室では「あまざけ」の原料となる米麹を製造していた。7・8.仕込み蔵で柴田さんの説明に聞き入る岡本さん

「美佐渡会」では、5蔵の杜氏の似顔絵に蔵の特徴を添えた敷き紙を、島内の蔵元に制作してもらい、食事の際にお客様に供している。佐渡の酒造りの歴史をお客様に供し、わかりやすい文章の最後には「こんな言葉が。」「佐渡は、今も昔も酒造りに最適な「醸しの島」である。」

「ホテル志い屋」では天領酒造のお酒を含む佐渡5蔵の地酒を用意。「天領酒」、「真野鶴」、「金鶴」、「真稜」、「北雪」の5銘柄だ。仕込み水、酒米、歴史、蔵の考え方がより酒の味も変わる。「みなさん方向性が違います。それぞれの酒蔵の個性を味わってほしいですね。そのお手伝いができればいいですね、やっぱり人の手なんです。」



## アクセス

新潟港から両津港へ/ジェットフォイルで約1時間、フェリーで約2時間40分。  
直江津港から小木港へ/フェリーで約2時間40分  
寺泊港から赤泊港へ/高速船で約1時間  
●佐渡観光の問い合わせ  
佐渡観光協会 TEL.0259-27-5000

## 岡本さんが紹介する佐渡5蔵

### 一 天領酒造



代表銘柄「天領酒」  
創業 昭和58年（1983）  
地酒の宿のお酒「天生（てんなま）」はフレッシュな味わい。蔵元でも販売していない宿限定で味わえるお酒です。米と米麹だけでつくるノンアルコールの「蔵元のあまざけ」も人気です。

佐渡市加茂敷代458 TEL.0259-23-2111 交通 両津港から車で約5分  
酒蔵見学 可（予約不要、通年・年末年始除く） <http://www.tenryohai.jp>

### 二 加藤酒造店



代表銘柄「金鶴」  
創業 大正4年（1915）  
いい水を求めて造り蔵を移転したり、蔵人自らが米を栽培するなど原料へのこだわりは半端ではありません。地元で絶大な人気を誇るお酒です。常温やお燗にも合います。

佐渡市沢根炭屋町50 TEL.0259-52-6511 交通 両津港から車で約30分  
酒蔵見学 不可

### 三 尾畑酒造



代表銘柄「真野鶴（まのつる）」  
創業 明治25年（1892）  
エールフランスのファーストクラスで採用されている大吟醸酒を、うちではオリジナルの瓶画ラベルで提供しています。廃校を活用した学校蔵の取り組みは全国からも注目されています。

佐渡市真野新町449 TEL.0259-55-3171 交通 両津港から車で約30分  
酒蔵見学 可（予約不要、通年） <http://www.obata-shuzo.com>

### 四 逸見酒造



代表銘柄「真稜（しんりょう）」  
創業 明治5年（1872）  
手作りにこだわる小さな蔵ですが、数年前に「至（いたる）」がテレビで紹介されたのをきっかけに、県外の方にも人気です。昔ながらの山廃仕込みのお酒にも挑戦し続けています。

佐渡市長石84-甲 TEL.0259-55-2046 交通 両津港から車で約30分  
酒蔵見学 可（要予約、4月～9月） <http://www.henmisyuzo.com>

### 五 北雪酒造



代表銘柄「北雪」  
創業 明治5年（1872）  
世界的に有名なレストランNOBUでも提供され、日本酒通のロバート・デニロにも愛されるお酒。最近では遠心分離機を導入し、より高品質な酒造りに取り組んでいます。

佐渡市徳和2377-2 TEL.0259-87-3105 交通 両津港から車で約1時間/赤泊港から車で約5分  
酒蔵見学 可（要予約） <http://www.sake-hokusetsu.com>